



日本医療機能評価機構認定病院

医療法人社団 樫の木会
大島くすみ病院

〒939-0271

富山県射水市大島北野 48 番地
Tel0766-52-2580 Fax0766-52-8016

<http://www.kurumi.or.jp>

大島くすみ病院だより



【今月の医療・介護情報】

ノロウイルスのQ&A、予防

Q・ノロウイルスってどんなもの？

A・普通の細菌よりずっと小さく、電子顕微鏡でなければ観察できないほど小さな粒子です。ウイルス粒子だけでは、増えることができず、人間の生きた細胞の中でのみ増えることができるのです。

ノロウイルス食中毒は年間を通じて発生していますが、特に気温の低下する冬季（11月～3月）に多く発生します。

Q・冬場によく起こるのはどうしてなの？

A・冬にノロウイルス感染症が流行するとともに、この食中毒も多く発生がみられます。このウイルスを持った人が調理するときに食品を汚染してしまうことも増加すると考えられます。

Q・どんな食べ物で中毒になるの？

A・以前はかきを含む二枚貝による食中毒が多く報告されていましたが、近頃は二枚貝を喫食していない事例が増加しています。このウイルスを持った人がトイレの後で手をよく洗わずに調理をすると、ウイルスが食品に付着してしまい、汚染された食品が食中毒の原因になると考えられます。また、少量（数個から100個程度）でも感染するので、食べ物だけでなく、人→人、人→器具→人などの感染もあります。

Q・なぜ、貝が原因になると言われているの？

A・最近では二枚貝を含まない食事を原因とする食中毒も多く発生しています。しかし、二枚貝以外の食品からウイルスを検出することが難しいことなどから、原因食品を特定できない場合が多いのです。

二枚貝は大量の水を吸い込んでえさを取り込んでいて、えさと一緒にウイルスを体内に濃縮しているようです。これを主に冬場、生で食べて食中毒になった事例が過去に多く報告されていたため、貝が原因という印象が強いのではないかと考えられます。

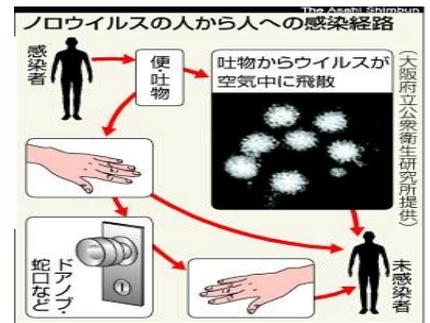
< 予防方法 >

食品を加熱する場合は中心までよく火を通す。

かきなどの二枚貝はできるだけ加熱して食べる。

調理する人は、トイレの後や調理前に十分手を洗う。

調理器具にウイルスをつけない、消毒するといった注意も必要です。



今月の顔



笑顔が素敵な井波さん
毎日、元気をもらっています。

12月happy birthday

井波ゆり子様 93歳

三林 忠男様 74歳

井波多美子様 79歳

明 春枝子様 92歳

稲田 ナミ様 91歳

永野 安代様 82歳

河合 時男様 85歳

野村 信男様 65歳

保里 アヤ様 99歳

大橋 善一様 84歳

竹内 のぶ様 76歳

おめでとうございます



井波ゆり子様

■医療保険病棟(南3F病棟)における医療区分・ADL区分に係る評価票のご説明について

昨年の改定時にご案内しておりますが、平成18年7月から、医療保険病棟の入院基本料の算定方法が変わっております。

ご入院中の患者家族様には1ヶ月間の患者様の状態評価に係る書類として、毎月「医療区分・ADL区分に係る評価票」をご送付しております。今回は、簡単にそのご説明をさせていただきます。

入院基本料の所定点数は医療区分とADL区分によって5区分(入院基本料A～E:下記の表参照)に分けられた、いわゆる「医療必要度」の評価に応じて設定されています。

例) 気管切開又は気管内挿管が行なわれている状態(発熱を伴う状態を除く)及びADL得点(22点)が下記に通りで、1ヶ月変化無かったケースでは患者様の状態評価は(表-1)の様になります。

患者様の状態評価・・・評価票2枚目の下部に記載

・1マス毎に、1～31日まで「✓」が入ります。

医療区分の評価		ADL区分の評価		認知機能障害評価		(表-1)				
▼		▼		▼		☆	1	2	～	31
A	医療区分3	医療区分の該当項目数が1以上	ADL区分 3～1	ADL得点 0～24						
B	医療区分2	医療区分3該当項目数が0で医療区分の該当項目数が1以上	ADL区分 3～2	ADL得点 11～24			✓	✓	✓	✓
C	入院基本料 B: 1,344点		ADL区分 1	ADL得点 0～10	認知機能 加算有り					
D	医療区分1	医療区分評価 3・2いずれの該当項目数も0	ADL区分 3	ADL得点 23～24		ADL得点合計 22点				
E			ADL区分 2～1	ADL得点 0～22						

医療区分2 & ADL得点合計22点 = 入院基本料B: 1,344点

ADL... 食事、排泄、着衣、入浴、移動、寝起きなど日常生活を送る為に必要な基本動作すべてを指しています。高齢者の身体活動力や障害の程度をはかる為の重要な指標になっています。

療養病棟入院基本料2 算定点数一覧

(表-2)

状態評価区分	医療区分3 (告示・別表五の二の患者)	医療区分2 (告示・別表五の三の患者)	医療区分1 (医療区分2・3に該当しない患者)
ADL区分3 (判定スコア23点以上)	入院基本料A (1,740点)	入院基本料B (1,344点)	入院基本料D (855点)
ADL区分3 (判定スコア11～22点)			入院基本料E (764点)
ADL区分3 (判定スコア10点以下)		入院基本料C (1,220点)	

尚、医療区分、ADL区分による患者様の状態評価は毎日行なうこととされており、ご容態・治療によっては日々医療区分が変化致します。

上記はひとつの例であり診療報酬算定に際しては、他にも国で定められた多くの定義や複雑な要件があります。

お知らせ

- ・ 当院では、この度ストレッチャーに乗ってはかれる体重計を購入いたしました。風呂場前に設置されております。
- ・ 年未年始の入浴の休みは、**12月30日(日)～1月6日(日)**です。



(編集後記)

患者様への言葉掛けというのは、毎日の生活の中でとても難しいものです。私達も常日頃丁寧にと心掛けているつもりなのですが、つつい出てしまうのが『何とんがけ～!』です。一つ一つの言動に気を付けたいものです!!

基本理念

患者様の生命と人権を尊重した医療と介護に努めます。
信頼され安心して利用される施設・在宅支援サービスを提供します。
地域と連携し高齢者医療の中核病院を目指します。

運営指針

- 1 私たちは、思いやりの心をもって利用者の方々の自立支援を行います。
- 2 私たちは、感謝の気持ちをもって、利用者の方々に接します。
- 3 私たちは、小さな努力を一步一步積み重ねて、利用者の方々の笑顔を得たいと考えます。
- 4 私たちは、利用者の方々の長年の苦勞に敬意をはらって、介護サービスをいたします。
- 5 私たちは、利用者の方々からのご意見、ご提案に耳を傾けます。
- 6 私たちは、入所・入院しておられる方々に医療情報を積極的に公開し、安心と納得の医療に努めます

平成18年4月1日改定